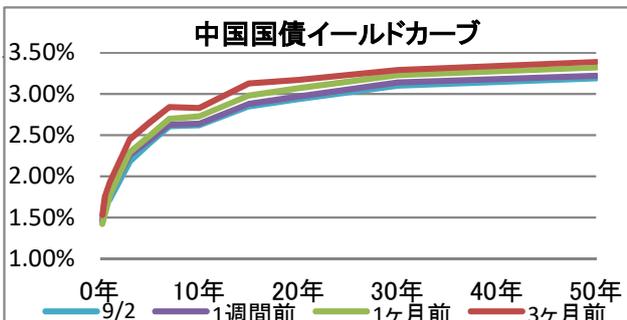
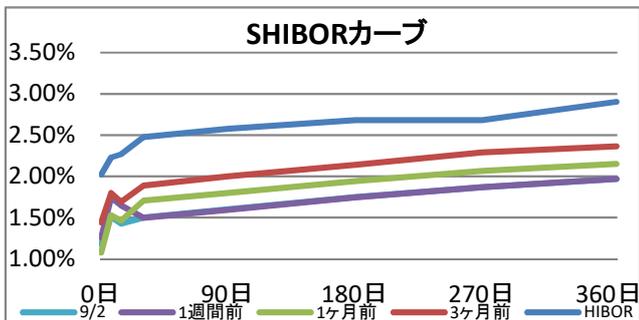


基準レート		2022/9/2	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8917	+0.0431
	JPY/CNY	4.9379	-0.0799
SHIBOR	3M	1.6000%	+0.0060%
国債利回り	10年	2.62%	-0.02%
上海総合指数		3,186.48	-49.74



## (1) 概況

国際金融市場では、欧米中央銀行の金融引締め政策加速への懸念が高まり、債券利回りが大きく上昇し、株式市場が調整する展開が続いた。特に株式市場では、欧米でのQT増額を含むインフレ抑制を目的とする金融引き締め加速と中国でのコロナ感染拡大対策による景気先行きへの懸念が強く意識された。

中国金融市場でも、国務院から住宅市場支援を含む網羅的な経済政策を強力に推進する姿勢が示されたものの、コロナ感染拡大による大規模ロックダウンの影響やドル高元安への懸念から、株式市場は上値の重い展開から続落となり、債券利回りも短期を中心に低下。外為市場では、当局は元安を容認するとの見方から8月末には6.92台までドル高元安が進んだが、当局の急速な元安に対する懸念姿勢を受けて6.90台まで低下して週末を迎えている。

中国では、コロナ感染再拡大による影響への懸念が高まる中で共産党大会の10月16日開催が公表され、習主席は31日から始まった中国世界サービス貿易交易会に規制緩和と対外開放を進める方針を確認する書簡を送り、李総理は需要拡大に向けた政策強化方針と規制緩和の重要性を示している。その後、証監会を中心に香港との連携強化を中心とする資本市場の対外開放政策方針（ストックコネク対象銘柄拡大、香港での人民元建て株式取引や先物市場の拡充と開放等）が示され、北京市も金融サービス強化に対する積極姿勢を示し、設立1周年を迎えた北京証券取引所が国債発行を開始。中国人民銀行高官は金融緩和余地があること、銀保監会は地方专项債による調達資金の中小銀行資本充実等による实体经济支援策方針を改めて確認している。

## (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日100億元に対し、新規リバースオペ100億元による中立調節により月末を波乱なく乗り切っている。

## (3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局のPMI (8月) は、製造業が49.4% (7月、49.0%)、非製造業が52.6% (同、53.8%)、総合は51.7% (同、52.5%) と製造業は前月比で改善するも50%を回復できず、非製造業は50%台を維持したもののコロナ感染再拡大や猛暑の影響を受けて大幅に低下。
- ・ 財新製造業PMI (8月) は、49.5 (7月、50.4) とコロナ感染再拡大と猛暑による停電の影響等から再度50を下回っている。受注、製造とも低下しており、雇用も50を下回った状況が続いている。

## ② 資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.1750%	1.2500%	1.5000%	
1W	1.5100%	1.7100%	1.3500%	
2W	1.4280%	1.4500%	1.6400%	1.2500%
1M	1.5000%	1.6000%	1.6800%	1.5400%
3M	1.6000%	3.8000%	1.8000%	1.5700%
6M	1.7500%	2.3300%		1.8000%
9M	1.8700%			1.8700%
12M	1.9700%	2.3000%		1.9600%

8月末は資金需給に問題なく、9月に入っても資金需要減退への懸念に加え、コロナ感染拡大に伴う影響への懸念も強く、ターム物の出合いは四半期末となる9月末越えの1ヶ月が1.7%台前半に若干上昇して出合っている以外は限定的。

NCDも9月に入り月末越えとなる1ヶ月が1.5%台に上昇したものの、長めの期間ではむしろ低下に転じている。ターム物は1ヶ月が1.5%台前半に上昇する一方、3ヶ月が1.55%前後、6ヶ月が1.7%台後半、1年が1.95%前後で出合っている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	2.28%	2.30%
1W	2.39%	2.40%
1M	2.70%	2.80%
3M	3.20%	3.30%
6M	3.40%	3.60%
12M	3.80%	4.10%

QTの増額に加え、前週のジャクソンホールでのパウエルFRB議長の発言以降もFRB高官によるタカ派発言が続いたことから、ターム物の金利水準は上昇。中国国内市場では、引き続き短期取引中心でターム物は1ヶ月の2.7%台での出合いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.44%		1.57%	1.71%	1.89%
6M	1.67%		1.82%	1.89%	2.08%
1Y	1.72%	1.88%	1.99%	2.04%	2.29%
3Y	2.18%	2.44%	2.48%	2.59%	2.97%
5Y	2.40%	2.64%	2.88%	2.92%	3.61%
10Y	2.62%	2.91%	3.29%	3.46%	4.23%

債券市場では、利率債増発による需給への影響を意識しつつも、コロナ感染拡大等による国内景気先行き懸念が一段と高まっており、利率債の短期から中期ゾーンまでを中心に利回りが低下。米国債利回りは金融当局高官のタカ派発言が続いたことから上昇を続けており、10年米国債利回り（3.19%、+15bp）の中国国債利回り（2.62%、-2bp）の上回り幅は+57BP（前週+17bp）に拡大している。

イールドカーブは、短期を中心に全体に下方シフトするブルスティーピングに転じており、クレジットスプレッドは利率債の利回り低下により中期まで拡大に転じている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	-11.4 / -11.3
1M	-62.5 / -61.5
3M	-239.0 / -237.0
6M	-535.5 / -534.0
9M	-840.0 / -836.0
12M	-1133.0 / -1126.0

対ドル基準レートは6.8917と前週末比+431pipsのドル高元安、対円基準レートは4.9379と同-799pipsの円安元高と、この間のドル高を映じているものの急激なドル高に対する警戒感からやや元高での設定が続いている。中国国内市場では、8月中は月末のドル決済需要から6.92台までドルが買い進まれたものの、9月に入ると基準レートの元高設定等から当局の急激な相場変動への懸念を意識して6.90台まで低下している。

先物は、ドル金利上昇懸念からマイナス幅が拡大して1年物は-1130程度まで低下したものの、ドル高懸念による先物予約ニーズに加え、米雇用統計を控えていることもあり、-1100を挟んだ狭いレンジ内での取引が続いた。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.70%		1.35%
6M	1.78%	1.79%	1.51%
9M	1.84%	1.91%	1.57%
1Y	1.90%	2.03%	1.63%
3Y	2.19%	2.50%	1.75%
5Y	2.41%	2.81%	
7Y	2.56%	3.00%	
10Y	2.71%	3.19%	

スワップ金利は、債券利回りが低下していることから全期間低下に転じている。ただし、短期金利は四半期末を控えていることもあって一部では小幅ながら上昇していることから、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドには概ね変化なかった。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。